

うちなだ 議会だより



一年の計は？



Vol.128

平成29年(2017)

2月3日発行

石川県内灘町議会

地域で活躍・安心社会へ

地域見守り隊で活躍

児童生徒の登下校の安全を見守っています。



安心パトロール

車両に青いランプを装着し、地区を巡回して防犯に努めています。



推進隊も応援



町内全域にわたり、交通事故の防止や防犯のため、安全意識の向上を図っています。

内灘町議会

— 目次 —

4 12月会議

教育予算を拡大

6 請願の審査 討論！

11月会議

7 賛否の分かれた議案一覧

白帆台小学校 建設工事すすむ

8 委員会レポート

9 一般質問 8人が登壇

18 視察・研修レポート

・主体的な取り組みが力ギ
・地域の声がポイント
・「伝わる議会広報紙」を学ぶ
総務産業建設常任委員会
文教福祉常任委員会
議会広報対策特別委員会

19 ありゃーどうなったがいねー

街がどインタビュー 緑台 松田六郎さん

20



いいぞめかい
射初会（弓道協会）

表紙のつづき

「二年の計は？」

1月10日 大根布小学校での書初め
今年はどうな年になるのかな、大きく成長したいな、そんな思いにワクワクしながら今年の目標を立てるのもいいものです。

を拡大

12月会議
6日～15日

中学校にエアコン導入決まる

白帆台小学校建設

工事費 **1億400万円**

監理業務委託料 **100万円**

白帆台小学校プール及びグラウンド工事(Ⅱ期分)。



「ほのぼの湯」

管理用備品購入費

550万円

開館に伴う管理用備品(家具、家電備品等)を購入。



完成イメージ図

平成28年内灘町議会12月会議が開催され、補正予算のほか、条例、指定管理者の指定など計12議案を審議し、すべて原案のとおり可決しました。

補正予算

一般会計補正予算(第5号)

(賛成10人 反対2人)

2億2211万5千円を増額し、総額109億2397万5千円となりました。

公共下水道事業特別会計補正予算(第3号)

(全員賛成)

国庫補助の減額に伴い、1億3092万円を減額しました。

国民健康保険特別会計補正予算(第3号)

(全員賛成)

被保険者数の減少等により、3732万5千円を減額しました。

後期高齢者医療特別会計補正予算(第1号)

(全員賛成)

保険料の増額による後期高齢者医療広域連合への負担金の増額等により、1322万7千円を増額しました。

介護保険特別会計補正予算(第3号)

(全員賛成)

保険料の増額による基金積立等により、796万円を増額しました。

条例の改正

茶室条例を改正

(全員賛成)

内灘町公共施設管理公社が指定管理している内灘町茶室(惜亭・自在庵)を、平成29年4月から町教育委員会が管理する。

手数料徴収条例を改正

(全員賛成)

犬の登録手数料等の免除対象を、盲導犬に加えて介助犬と聴導犬を含めた身体障害者補助犬に拡大する。

企業職員の給与の種類及び基準に関する条例を改正

(全員賛成)

雇用保険法等の一部を改正する法律の施行に伴う改正。

職員の育児休業等に関する条例を改正

(賛成11人 反対1人)

育児休業等に係る「子」の範囲の拡大等及び、育児時間と介護時間を同日に取得する場合の合計時間数を調整。

平成28年度 補正予算 教育予算

中学校施設整備

工事費

8500万円

調査設計等委託料

500万円

内灘中学校普通教室の空調設備設置工事。

その他の主な事業

ひとり親家庭等児童奨学金

116万円

ひとり親家庭で保育所等に通う児童及び高校生等を扶養している世帯に対し、奨学金・就学援助金を支給。支給対象者の増加。

子ども医療費助成金

2000万円

子どもの疾病による保護者の負担軽減を図るため、医療費の一部又は全額を助成。現物給付方式による給付費等の増加。

私立保育園運営費負担金

2500万円

町内の私立保育園に対する運営費負担金や、町外の保育園に通園する児童の措置費を負担。低年齢児の受入数等の増加。

特別保育事業費等補助金

220万円

保育業務支援システム補助金及び事故予防のためのビデオカメラ設置事業（大根布保育園・白帆台保育園）。

妊産婦乳児健康診査委託料

244万円

妊婦健診の検査項目の増加により、1人当たりの委託単価が増加。

健康診査等委託料

220万円

ヤング健診、がん検診などを検査機関（集団）と医療機関（個別）に委託。受診者数の増加。

障害者自立支援給付費

4800万円

障害者が自立した日常生活又は社会生活を営むことができるよう必要な障害福祉サービスを給付。利用者の増加。

障害児福祉給付費

600万円

18歳未満の障害児を対象とした障害児福祉給付。利用者の増加。

ふるさと寄附金報償費

250万円

内灘町に対し「ふるさと応援寄附金」を納めて頂いた方へ地元特産品等を贈呈。寄附件数の増加。

三世代ファミリー同居・近居促進事業補助金

120万円

三世代が同居又は近居を始めるために住宅を新築又は増改築等する方に対する補助。申込件数の増加。

鉄道施設総合安全対策事業補助金

679万円

北陸鉄道の鉄道線（浅野川線・石川線）における安全確保のため、国、県、沿線市町が支援。追加事業による増加。

通学バス運行委託料

140万円

運行便数の増加。

条例の制定

農業委員会の委員等の定数に関する条例を制定

（全員賛成）

農業委員の公選制を廃止し町長の任命による選任とする。また定数をこれまでの15人から12人に減員し農地利用最適化推進委員を新設。

指定管理

（全員賛成）

体育施設とサイクリングターミナルの指定管理者に一般財団法人内灘町公共施設管理公社を指定
指定期間は平成29年4月1日から平成32年3月31日まで。
なお対象の体育施設は、野球場、総合公園テニスコート、サッカー競技場の3施設。

請願の審査

不採択

安全・安心の医療・介護の実現と夜勤改善・大幅増員を求める請願

(原案に賛成2人 反対10人)

◎請願者

石川県医療労働組合連合会

執行委員長 東 幸枝

◎紹介議員

北川 悦子

要旨

医療従事者の労働環境改善と、医師・看護師・介護職員などの大幅増員を図り、医療提供体制を充実させ安全・安心の医療・介護の実現を望む。



討論!

不採択

請願第13号 安全・安心の医療・介護の実現と夜勤改善・大幅増員を求める請願書

原案に賛成

北川 悦子

日本の医師数はOECD加盟国の中で平均以下。労働環境を整える必要がある。



原案に反対

七田 満男

医師を増やせば医療費や国保料の増額にもつながる。都道府県別の医師数の格差を是正をすべきだ。

11月会議

11月29日

補正予算

一般会計補正予算(第4号)

(賛成11人 反対1人)

公共下水道事業特別会計補正予算(第2号)

(第2号)

(全員賛成)

介護保険特別会計補正予算(第2号)

(第2号)

(全員賛成)

国の人事院勧告に基づく一般職の給料及び勤勉手当等、特別職と議員の期末手当の増額分として、三会計合わせて867万8千円を計上。

条例の改正等

職員の勤務時間、休暇等に関する条例を改正

(全員賛成)

育児休業等に係る「子」の範囲を拡大。また介護休暇の請求を分割可能とし、介護時間制度を新設。

議員及び特別職の期末手当支給率を改正

(賛成11人 反対1人)

年間支給率を0・1月増の3・25月分に改正。

一般職の給料表及び勤勉手当支給率等を改正

(全員賛成)

給料表を平均0・23%引き上げ、勤勉手当の年間支給率を0・1月増の1・70月分に改正。扶養手当を平成29年4月から段階的に改正。

防災センター条例を制定

(全員賛成)

地域防災センター及び防災コミュニティセンターの設置、管理について規定。

福祉センター条例を廃止し展望温泉ほのぼの湯条例を制定

泉ほのぼの湯条例を制定

(全員賛成)

ほのぼの湯の建設により、福祉センター条例を廃止し、新たに展望温泉ほのぼの湯条例を制定。ほのぼの湯設置、管理について規定。

指定管理

(全員賛成)

防災コミュニティセンターと展望温泉ほのぼの湯の指定管理者に一般財団法人内灘町公共施設管理公社を指定

指定期間はいずれも平成29年4月1日から平成32年3月31日まで。

審議結果一覧

11・12月会議で
賛否の分かれた議案一覧

議案	氏名	米田 一番	磯貝 幸博	七田 満男	太田 臣宣	生田 勇人	川口 正己	藤井 良信	恩道 正博	北川 悦子	夷藤 満	清水 文雄	中川 達	南 守雄
議案第70号 平成28年度内灘町一般会計補正予算(第4号)		○	○	○	○	—	○	○	○	×	○	○	○	○
議案第74号 議会の議員の議員報酬及び費用弁償等に関する条例の一部を改正する条例について		○	○	○	○	—	○	○	○	×	○	○	○	○
議案第75号 常勤の特別職の職員の給与に関する条例の一部を改正する条例について		○	○	○	○	—	○	○	○	×	○	○	○	○
議案第82号 平成28年度内灘町一般会計補正予算(第5号)		○	○	○	○	—	○	○	○	×	○	×	○	○
議案第93号 職員の育児休業等に関する条例の一部を改正する条例について		○	○	○	○	—	○	○	○	×	○	○	○	○
請願第13号 安全・安心の医療・介護の実現と夜勤改善・大幅増員を求める請願書		×	×	×	×	—	×	×	×	○	×	○	×	×

○は賛成、×は反対、—議長は採決に参加しません。

白帆台小学校 建設工事すすむ

校舎は地上3階建てで、腰壁など児童が触れる部分は、あたたかみのある木材で仕上げます。省エネルギー対策として、窓ガラスは複層ガラス仕様で、照明器具の一部にLEDを採用します。また、バリアフリーにも考慮しエレベーターも設置されます。



平成30年4月の開校に向けて、工事は順調に進められています。
今後、プール、グラウンドなど順次工事が発注される予定です。

小 学 校
建設特別
委 員 会

平成28年12月会議より

金沢ケーブルテレビで
本会議を**生中継**しています



うちなだチャンネル039ch
で見てくださいね！

ケーブルテレビ加入に関する問い合わせ先
金沢ケーブルテレビネット株式会社
☎ 0120 - 751 - 114



※視聴にはケーブルテレビの加入が必要です。

総務産業
建設常任
委員会文教福祉
常任委員
会

(仮称)

白帆台インターチェンジ

接続道路の取付け位置変更を検討



のと里山海道への接続道路設置予定地

白帆台からのと里山海道への乗り入れ場所を変更することで工事費の縮小が見込まれるため、設計変更について県と協議する。

その他の質疑・意見

問 金沢弁護士会館建設負担金支出の根拠は。

答 金沢弁護士会から県の町長会に要請があり、活動に公共性が高いため県内市町で応分に負担する。

問 マイナンバー登録人数と発行時のトラブルはあるか。

答 11月末で申請が2245件あり、1783件が交付済み。発行時の事故はない。

問 国内観光活性化フォーラム開催は、町のPRにつながるのか。

答 県下すべての市町が補助金を交付する。フォーラムに職員を派遣する。

問 指定管理者からの寄付金を新たな基金に積み立てよ。

答 今後の寄附の状況により検討していく。

問 農業委員の、公募要件と町が選考する場合の要件を示せ。

答 公募要件は、農業に関する見識を有し職務を適切に行なうことができる者。町が選考する場合の要件は、現在作成中。

がん検診

受診状況の結果は

平成27年度は19人、平成26年度は15人の方ががんが発見された。特に多かったのは、乳がん、前立腺がん、大腸がん。

その他の質疑・意見

問 障害者自立支援給付費4800万円の増額補正の主な要因は。

答 制度改正に加えて、支援の必要な利用者に給付制度が浸透してきており、各種サービスの利用延べ人数の増加。

問 役場庁舎に「盲導犬」を入れる場合、どんな手続きが必要か。

答 法律により、手続きなしで「盲導犬・介助犬・聴導犬」は同伴できる。

平成27年度 がん検診の受診状況

(保健センター保健事業報告書より)

項目	対象者数	受診者数	がん発見者数
肺がん	8,525	2,581	1
胃がん	8,525	1,180	1
大腸がん	8,525	2,058	4
子宮頸がん	6,077	1,423	1
乳がん	5,138	1,315	6
前立腺がん	3,022	712	6

(単位：人)



役場玄関にも「ほじょ犬」マーク

一般質問 (12月8日)

市政も問う

8人が登壇

一般質問とは、議員が町政全般にわたり、その執行状況または将来の方針、政策的提言や行政への批判などを執行機関に直接問うものです。

七田 満男 10

- ・小中学校・公共施設トイレの洋式化・温水洗浄便座化について
- ・高齢者の運転免許証自主返納支援事業について

清水 文雄 11

- ・概算事業費 7 億 3 千万円の（仮称）白帆台インターチェンジは必要か。事業を中止する考えはないか
- ・町防災訓練について ほか 2 問

夷藤 満 12

- ・蓮湖渚公園をウォーキングが出来るように整備せよ
- ・学校給食共同調理場の建て替え時期はいつか（公共施設建て替え時期について） ほか 2 問

恩道 正博 13

- ・機能別消防団員制度について
- ・耐震改修工事の補助制度について ほか 1 問

北川 悦子 14

- ・内灘闘争から学ぶ
- ・融雪工事と住民からの不安 ほか 2 問

太田 臣宣 15

- ・消雪施設整備計画について
- ・交流人口増加への取り組みについて ほか 1 問

磯貝 幸博 16

- ・町長再選出馬表明を受け「明日への元気な町づくり」に向けた政策と決意を問う
- ・交流人口のさらなる促進に向け、オール内灘で受皿づくりを進めよ ほか 2 問

米田 一香 17

- ・災害備蓄管理体制の構築と地域防災力の強化について
- ・高齢者運転免許証自主返納支援事業と外出支援策について

質問と答弁の詳細は町ホームページ→議会→議会録画中継でご覧ください。

題字 上野雅子さん（西荒屋）



学校のトイレを洋式化せよ

100%達成を目指したい 教育部長



七田 満男

問 小中学校、公共施設のトイレの洋式化率は。

答 国内は43・3%、県内は44・2%。町では58・5%で、建設中の白帆台小学校を含めると66・2%となる。公民館などは70・2%、体育施設56・2%、公園69・4%となっている。

問 トイレの洋式化、温水洗浄便座化を進めよ。

答 小中学校の洋式化は今後、大規模改修等にあわせ100%達成を目指し、計画を立てて実現に向けて取り組む。温水洗浄便座は、一部の多目的トイレなどに導入済み。白帆台小学校は各階に配置する予定で、その他の学校でも順次進める。公民館、体育施設や公園も、今後の改修にあわせて洋式化や温水洗浄便座化を進める。



トイレにもっと愛を

自主返納事業

問 高齢ドライバーの事故を減らすための対策の一つに運転免許証自主返納支援事業がある。事業内容とその実績は。

答 平成25年に自主返納制度を導入した。返納者にコミュニティバスの6カ月定期券と、サンセットカード商品券または北陸鉄道(株)グループ商品券のいずれかを交付している。

これまで175人の方が自主返納をしている。

問 商工会などと協力し、タクシー料金の割引や購入商品の無料配達サービスなど、各種特典を用意し自主返納を促進する環境づくりを進めよ。

答 商工会や商工業者などと免許自主返納時の幅広い特典サービスの拡充を検討したい。



判断は自分で





清水 文雄

インターよりソフト面充実を 金沢方面へのアクセスを向上 町長



大型車両は交差できない既設ボックス

問 (仮称) 白帆台インターチェンジは概算事業費7億3千万円。※**ハイパーインター**の構造は※**アンダーパス**で既設ボックスを活用。ボックス内の車道は4.4・5mのため大型車の交差は困難で片側通行になる。このインターは本当に必要か。無駄なハード事業よりも、子育て、教育、福祉のソフト面の充実を重視していくべきだ。

答 白帆台地区では小学校や公営住宅の建設事業が進められている。通勤通学の利便性を高めることで定住促進につながる。町の南北の均衡ある発展や北部地区の活性化はもとより、町全体の活力を高めるためにも、金沢方面へのアクセスを向上させる(仮称)白帆台インターチェンジの整備は必要である。

原子力防災の取り組み

問 4月の熊本地震、10月の鳥取地震、11月22日の福島沖の地震など、自然災害が本場に多い。9月25日の町総合防災訓練では原子力防災に関しては地域防災計画の展示だけだった。3・11福島原発事故を風化させてはならない。志賀原発から40キロ圏にある町として、原子力防災への真剣な取り組みが必要だ。町の考えを問う。

答 訓練当日は、環境放射線モニタリングカーの派遣が日程調整できなかった。今後の原子力防災訓練でも環境放射線モニタリングカーの派遣を県に要請し、原子力災害対策のパネル展示を工夫して行なっていきたい。原子力災害時には、町民にわかりやすい情報伝達を的確に行なうことが最も重要と考えている。



平成 27 年県原子力防災訓練でのスクリーニングの様子(能越道県境 PA)

※ハイパーインター

2方向にしかアクセスできないインターチェンジ。標準的な構造は、上り線の入・出口、下り線の入・出口の4方向にアクセスできるフルインターチェンジ。

※アンダーパス

立体交差で、掘り下げ式になっている下の道路。くぐり抜け式通路。

その他の質問

問 白帆台公民館に投票所を設置せよ。

答 増設は難しいが、位置の見直しは可能。

問 旧消防庁舎の活用は、現時点で具体的な方針は決まっていない。

ウォーキングロードに整備せよ

材質や財源を検討する 町長



夷藤 満

問 公園の利用促進を図り、安全で安心して散策ができる園路となるよう、整備に向けて舗装の材質や整備財源などを検討していく。

答 蓮湖渚公園内に砕石が敷かれている。若者から高齢者まで安心してウォーキングできるような砕石の敷かれたところはゴム式やアスファルト舗装で整備せよ。

問 周辺住民の健康増進の場となるほか、自然に親しむことで、環境意識の向上が期待できる。

答 周辺住民の健康増進の場となるほか、自然に親しむことで、環境意識の向上が期待できる。



歩きやすい道へ、みんなの願い



調理場環境の向上を図れ

学校給食共同調理場

問 働く人が快適な環境で調理することは、食の安心・安全にもつながる。県内の学校給食調理場におけるエアコンの設置状況を示せ。

答 県内33カ所中、冷暖房設備がないのは本町を含めて1カ所。

問 学校給食共同調理場の建てかえ時期は、いつごろを予定しているか。

答 現在の調理場は昭和58年の建設で耐震基準を満たしている。築33年を迎えているが、必要に応じて厨房設備などの更新は適宜実施してきた。

問 今後、各小学校の大規模改修も控えており、全体的な計画の中で調理場のエアコンの設置や改修も検討したい。

答 改修などは、財源や方法など調査研究を進めている。

その他の質問

問 家屋の解体助成制度を創設せよ。

答 先進事例を踏まえ調査研究する。

問 免許証自主返納者にまだバスを永久無料にした場合の町負担は、年間50人の返納を仮定し毎年約100万円増。



恩道 正博

機能別消防団員制度導入を

新たに導入し災害に対応する 消防長



ちびっこ消防団？

問 平成25年に消防団を中核とした地域防災力の充実強化を推進する法律が成立した。

全国的に、社会環境の変化などから消防団員の減少やサラリーマン化などさまざまな課題に直面しており、地域防災力の低下が懸念されている。

迅速に現場に出動できる消防団員OBなどを採用する**※機能別消防団員**制度を導入せよ。

答 県内では、4月現在、七尾市、輪島市、津幡町など3市2町に82名の機能別消防団員がいる。

町消防団員のサラリーマン化率は67・4%で年々増えている。日中の各種災害に対応する消防力の強化を目的に、町内居住の消防団OBを機能別消防団員に任命し、特定の活動のみに従事する機能別消防団員制度を新たに導入したい。

耐震化促進事業

問 県は住宅・建築物耐震化促進事業の中で、**※段階的耐震改修工事**の補助制度を導入している。町での導入に向けた考えを示せ。

答 現在、県内での導入した他市町の補助実績はなく、今のところ補助制度導入は考えていない。

今後、先進地の実績状況や住民ニーズ等を注視しながら調査研究する。



はたらく車体験（向粟崎文化祭）

問 県内9市4町で導入されている**※簡易耐震診断**の支援制度を導入せよ。

答 国、県、市町が助成し、通常の診断費用に比べ個人負担が不要またはわずかな費用で診断ができる制度。県内の実施状況は平成26年度約100件、平成27年度70件。

木造住宅耐震化のための簡易耐震診断支援制度導入を前向きに検討する。

※機能別消防団員

能力や事情に応じて特定の活動にのみ参加する消防団員。

※段階的耐震改修工事

一度に耐震改修工事を実施することができない住宅を、段階的に耐震改修する工事。

※簡易耐震診断

住宅の耐震性を調べる。目視調査と間取りから診断する「一般調査」と、家屋調査を行って診断する「精密調査」とがある。

その他の質問

問 マイホーム取得奨励金制度の拡充を。

答 平成29年度に制度拡充に向け調査検討する。

内灘闘争から学ぶ環境を

歴史民俗資料館を拠点に発信 教育長



北川 悦子

問

当時座り込みに参加

答 歴史民俗資料館には、内灘闘争の資料も数多く展示し、案内図も配布している。看板増設は難しいためPRに努める。

問 平成27年に町文化財史跡に指定された内灘海岸の射撃指揮所、権現森の着弾地観測所への案内標識が訪れた人々にわかりにくく不親切だ。

答 管理上のことも考慮し、総合公園等の町有地内で協議を進めたい。

問 小中学校での学びは。

答 小学3・4年生は町独自の資料集を用いて、中学生は図書室前に記事を掲示し学んでいる。



内灘海岸の射撃指揮所跡

消雪施設工事

問 消雪施設整備がすすむなか、地盤沈下の心配はないのか。

答 消雪装置の水源は、これまで使っていた上水道水源の利活用と、既設消雪井戸の交互散水により行なっている。

また町の地下水への規制は他市町より厳しく、町全体でシミュレーションして許可を出している。地盤沈下の影響はない。

問 ハマナスと千鳥台の境のボックス内の排水は大丈夫か。

答 ハマナスから千鳥台までの準幹1号線約1キロの区間の雨水は、のと里山海道下のボックス付近に集まる。また消雪散水による雪解け水も同様にこの場所に集まる。ボックス付近の排水は適正な排水機能を保保しており心配はない。



排水は大丈夫

その他の質問

問 原爆写真展を庁舎、図書館、学校で開催を。開催の周知・展示方法を検討する。

問 国保加入の子どもの均等割保険料をなくせ。廃止や軽減はできない。



太田 臣宣

切れ目のない消雪計画を

早期に検討する 町長



消雪整備された県営住宅前の道路

問 町長が就任し、いち早く取り組んできた第1期の消雪施設整備が平成29年度完了予定だが、通学路や住民生活道路もまだまだ整備が望まれる。また避難所へ向かう道路も検討が必要だ。地域柄、ゲリラ的に雪が降り、交通や通勤通学に支障をきたすことも予想される。安心・安全の町を目指す上でも切れ目のない事業推進を望む。

答 平成26年度から今年度まで新規に約6・7キロの消雪施設を整備した。幹線道路、通学路、急な坂道などと同様に、指定避難所など公共施設へのアクセス道路も選定項目に入っており次期の整備計画の中でしっかりと検討したい。また水源などの課題もあるが、次期の消雪整備計画は早期に検討し議会に示す。

総合公園

問 総合公園周辺施設への案内看板を設置せよ。

答 駐車場誘導看板を含め、施設のPRにつながる看板設置を検討する。

問 来年オープンのものぼの湯など、周知不足だ。

答 各方面へ働きかけを行なう。ケーブルテレビでのPRなど、さらなる交流人口増加につなげる。



12月にオープンした屋内多目的広場

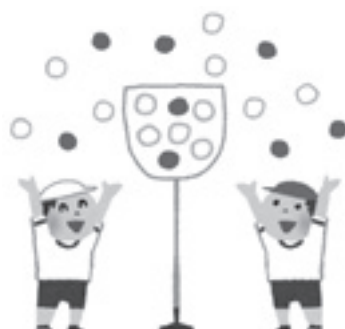
問 総合公園周辺では放水路側の整備と屋内多目的広場横の体育館整備が残っている。整備計画を示せ。

答 平成29年度から放水路側の整備に着手し、完了後、体育館の建設は平成32年度を予定している。早期の完成を目指し今後国、県など関係機関への要望を力強く行なっていく。

その他の質問

問 老朽化が目立つ道路の整備計画は。

答 優先順位を決め計画を立て改修を進める。



元気なまちづくりへの決意を！

町民福祉の向上を目指す 町長



磯貝 幸博

問 町長は就任以来、スピード感を持った町政運営に積極的に取り組み、この4年間で町は大きな変貌を遂げたと感じる。今後、川口町長が目指すまちづくりで、特に取り組んでいく政策を問う。

答 教育環境の整備を第一に考え、中学校をはじめ小学校でも順次教室の冷房設備の整備を進める。コミュニティバスを増

車し運行ルートを見直す。計画的に消雪施設の整備充実を図る。
(仮称)白帆台ICを整備し、白帆台地区での県営・町営住宅の整備により定住促進を進める。

問 元気なまちづくりに向けた決意は。

答 町のさらなる発展と町民福祉の向上のために邁進していきたい。



若者の夢を実現できる町に！（成人式）

交流人口の拡大

問 増加する外国人観光客の誘客につなげるため、町が主導し、高校生や中学生が町内を英語で案内する観光案内ビデオを作成せよ。

答 高校生や中学生がまちづくりに参加することは、郷土愛を育むうえで有効であると考える。町観光協会や内灘高校と連携し、観光ビデオの作成に前向きに検討する。

問 屋内多目的広場を県内・県外を問わず発信し、誘客につなげるための冬の交流イベントを行なう考えはあるか。

答 屋内開催イベントを、町商工会などと連携して検討する。
平成29年度はプレミアム観光チケットを販売し、金沢駅周辺の観光客を内灘町へ誘導する事業を実施していく。



広がる交流の輪

その他の質問

問 ※ネーミングライツ

答 先進事例等を参考に調査研究していく。

問 個人番号カードを活用し※地域通貨創設を。

答 国の動向を見据え調査研究をしていく。

※ネーミングライツ

命名権と呼ばれ、施設やイベントに企業等が対価を支払い名前をつける。

※地域通貨

限られた地域内で流通する貨幣。商業活性化、ボランティア活動の支援などの目的を持って発行・利用ができる。



米田 一香

ムダのない災害備蓄を

ローリングストックを取り入れる 総務部長



保育所と連携を（向粟崎保育所）

問 母乳育児が推奨されており、災害時には安心して授乳できる環境の整備が大切だ。一方、ストレスで母乳が出にくいこともある。常時、粉ミルクは備蓄されているか。

答 備蓄をしていたが、昨年度、粉ミルク10缶を破棄した。消費期限までの期間が1年4カ月と短く使い切れなかった。現在、納品待ち。

問 町立保育所で粉ミルクの使用があるにもかかわらず、破棄したのは非常に残念だ。今後は部署間の連携を図り、粉ミルクの備蓄は、ムダのないように保育所で活用せよ。

答 保育所と協力して※ローリングストック制度を取り入れ、消費期限切れを防ぎながら常時備蓄に努める。

高齢者の外出支援

問 運転免許証保有者の割合は男性85・6%、女性64・8%と男女差が大きく、免許返納は家族の生活にも影響を及ぼす。返納特典のバス利用範囲を家族に拡大し、期間を1年に延長せよ。また、タクシー助成も実施せよ。

答 返納特典の拡充は、高齢者のひきこもりや買い物弱者対策、外出支援と合わせて検討する。



外へ出かけましょう！

問 外出支援は介護予防や地域活性化につながる。支援策の強化をはかれ。また、商工会や町イベントと連携したタクシー助成制度を創設せよ。

答 今後、コミュニティバスの充実や移動スーパ―など利便性向上につながる方策を考える。タクシー助成制度は高齢者福祉施策の中で総合的に検討する。

※ローリングストック

備蓄（ストック）を回転（ローリング）させること。日常的に非常食を食べ、食べたら買い足すということを繰り返し、常に新しい非常食を備蓄することで、消費期限切れを防ぐ保存方法。

主体的な取り組みが力ギ

視察 総務産業建設常任委員会

〔日程〕11月16～18日

【視察先】

・愛知県南知多町、豊田市

・油ヶ淵水辺公園(碧南市・安城市)



豊田市の町並み整備

南知多町の内海海岸は、昔から鋳物用に重宝されてきた細かな粒の砂浜が広がり、内灘と同じく風紋も見られました。細かな砂は美しいですが、風による被害が大きいです。対策として冬の間、2キロにかけ地域住民が主体的に砂防ネットを設置していました。また夏場の海水浴場では、1時間に1回利用者マナーの啓発をするなど誰もが安心安全に海を楽しむる運営に努めていました。砂と共に生きる人々の海岸への愛を感じます。

豊田市では足助地区の町並み整備を、碧南市と安城市では油ヶ淵水辺公園の整備について学び、3つの視察先から「住民の主体的な取り組み」がまちづくりの力ギだと感じました。

(米田)

地域の声がポイント

視察 文教福祉常任委員会

〔日程〕11月16～18日

羽曳野市では、地域づくりによる介護予防推進支援モデル事業「いきいき百歳体操」を体験しました。負荷が調整できるおもりを手首、足首につけて行なう体操で、地域の主体的な取り組みがポイントです。

おおさかATCグリーンエコプラザは、環境・防災教育などを広く一般に紹介することを目的とした日本初の常設展示場で、環境問題全般について学ぶことができました。

大津市は、日本一の英語教育を目指し、会話を中心とした英語教育のためすべての小中学校に外国語指導助手を派遣しICTの活用で質の高い英語教育を展開していました。

(北川)

【視察先】

- ・大阪府羽曳野市
- ・おおさかATCグリーンエコプラザ
(大阪府住之江区)
- ・滋賀県大津市



いきいき百歳体操

「伝わる議会広報紙」を学ぶ

研修 議会広報対策特別委員会

〔日程〕10月25～26日〔視察先〕東京都



伝わる広報紙を

全国町村議会議長会主催の広報クリエイティブ研修では、伝わる文章の書き方と紙面編集のポイントを学びました。

翌日は、キャノンデジタルシヨップで、写真撮影テクニックの講義と実習に参加しました。

普通救命講習

全議員で受講
〔日程〕1月26日



まさかに備える

町消防署で普通救命講習を受講し、心肺蘇生法、AED操作法、窒息の対処法や止血法などを学びました。

数年に一度、知識や技術を継続的に学び確認することが重要です。

追跡

ありゃ～
どうなったがいね～

公園に高齢者向け 健康遊具を設置せよ

介護予防の一環として、高齢者がいつでも気軽に、みずから運動に取り組めるよう健康遊具の整備が必要だ。

平成 27 年 12 月会議

清水 文雄

答 弁

調査、検討したい

遊具利用者の安全確保を第一に、国の交付金事業を活用して設置できないか調査、検討する。

その後

平成 28 年 10 月 鶴ヶ丘中央公園内に健康遊具が完成

腹筋ベンチ、ダブル踏み台昇降、ぶらぶらストレッチ、十字懸垂ベンチの 4 つの健康遊具が設置されました。



腹筋ベンチでいつでも気軽に体力づくり

町立学校で町歌を 歌う機会を設けよ

郷土愛を養い、町に誇りを持って、大きく巣立つためにも、子どもたちに町の大切な歌である町歌を歌い覚える機会が必要だ。

平成 28 年 3 月会議

夷藤 満

答 弁

歌う機会を設けていく

ふるさと内灘への誇りと愛着を醸成するための一助として町歌を歌う機会を設ける。

その後

平成 28 年度 取り組みを始めています

町内すべての小学校で、毎月の朝の歌の中のひとつに町歌を取り入れています。



清湖小学校 朝の歌の時間のようす

結婚記念日 中島あし



議会を傍聴しませんか

3月会議の一般質問は**6日午前10時**からの予定です。詳しくは、町ホームページをご覧ください。傍聴の受付は当日、庁舎3階のエレベーター横で行なっています。

議会事務局 TEL 286-6715

広報対策特別委員会
委員長 藤井 良信
副委員長 磯貝 幸博
委員 米田 一香
委員 七田 満男
委員 北川 悦子

西(トリ)は運氣も「取り込む」年でもあります。皆様にとって、実り多き一年となりますように。
〔米田 一香〕

街かどインタビュー

「人と人との出会いが宝物」

今回紹介する方は緑台の松田六郎(号高州)さん。町総合美術展の会場でお伺いしました。



◆出品作の書・篆刻一鳳凰于飛の見所、要点などアドバイス下さい。

○篆刻は実用以外の趣味的な印を彫ることです。方寸の中に好きな言葉や人

生の喜怒哀楽など自由に表現することができ、新しい創造の喜びを、来場者の皆さんと共有できればと思っています。

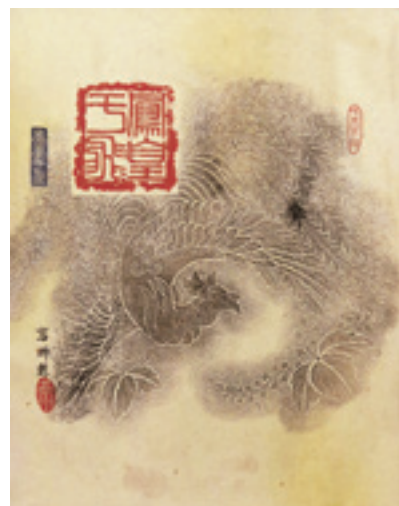
◆これまでの文化活動の中で心掛けていることは。

○篆刻を通じて、多くの先生方や友人との出会いこそ宝物であり、大切にしていることです。

◆全国柔剣道大会出場では準優勝の経験をお持ちですが、内灘町に住んで良

かったと思うことは。

○生まれは輪島市です。自衛隊時代は上越市に駐屯していました。内灘に住んで39年になりますが、若い世代の方々による町づくりへの積極的な参加に、新鮮なパワーを感じています。



プロフィール
昭和8年生まれ 83才
平成14年 書・篆刻家北室南苑先生に師事
平成21年 内灘町美術展「委嘱作家」の認定を受く
平成24年 日本篆刻協会常任委員推挙(特選・受賞ほか入選歴多数)

◆議会への要望などお伝え下さい。

○議会だよりから町の将来像がよく分かります。今後若い人たちに活躍の場を提供して下さい。

◆ありがとうございました。

インタビュー 藤井 良信

編集後記

年を跨いだ侃侃諤諤の編集作業も終わり、今年初の発行です。

2017年の十二支は酉(トリ)。申(サル)と戌(イヌ)の仲裁の為に間に入ったと言われています。酉年生まれは鋭い直観力と行動力があり、面倒見のよい方が多いそうです。身近に思い当たる方はいますか。酉は元々酒つぼを意味し、収穫した果実から酒を造る行為に由来して「物事が頂点まで極まった状態」が酉とも言われています。学業、仕事、習い事などの成果がありそうです。